

2020年(令和2年)10月10日 土曜日

ウイルスと人 共生も

飯塚市で西日本政懇

長崎大・山本教授が講演

西日本政経懇話会10月例会が9日、飯塚市内で開かれ、感染症に詳しい長崎大熱帯医学研究所の山本太郎教授(国際保健学)が「Withコロナ社会の見取り図 ウイルスとの共生の視点から」をテーマに講演した。要旨は次の通り。



西日本政経懇話会で講演する
山本太郎教授

新型コロナウイルスは発症前でも人に感染させるため、発症した患者を隔離する感染制御ができない。世界中で患者が3千万人、死者が100万人をそれぞれ超えている。もはや根絶できないのではないか。

パンデミックの初期、世界の多くの指導者がコロナ禍をウイルスとの戦争と例えたが、戦いではない。根絶するのではなく、命や生活を守りながら、ウイルスと「共生」することが

必要だ。

過去20年でSARS(重症急性呼吸器症候群)や新型コロナウイルスが出てきたが、これは過去の感染症に比べて、度を越えた出現頻度だ。野生動物と人との距離が近くなったことが原因で、人間が開発という名のもとに

無秩序に生態系に入ったり、地球温暖化によって野生動物の生息域が犯されたりしたことが考えられる。新型コロナウイルスの出現は、自然と人との関わりを考えてみてはどうかという警鐘もあるのではないか。

(中川次郎)